

あす 縄文の暮らし体験

井戸尻考古館

小松館長が子ども向け解説



昨年のこどもの日に行った縄文体験イベントの様子。今年は小松館長の子ども向け解説も新たに行う

富士見町の井戸尻考古館は5日、こどもの日に合わせた恒例イベント「縄文体験・ぼろ機織り体験」を開く。会場は同館と町歴史民俗資料館で、当日は両館の入館は無料。縄文人の暮らしの一端を体験できる機会として、多くの来場を呼び掛けている。

今回は新企画として、小松隆史館長の子ども向け解説を実施。土器や縄文文化などを分かりやすく説明し、体験と合わせてより縄文をより知ってもらう。午前11時と午後2時に、井戸尻考古館入り口付近で行う。

考古館前広場では、学芸員と一緒に石を削って仕上げる飾り玉のペンダント作りや丸木弓の当てなど、当時使われていたとされる素材を生かした体験ができる。住民有志の「井戸尻応援団」による土器の拓本体験もある。時間は午前9時～午後4時。

民俗資料館では、地元のグループ「紅蓮・織りの会」のメンバーの指導で、昔の機織り機にも挑戦できる。時間は午前10時～午後3時。体験は無料だが、出来上がった作品の送料はかかる。

考古館は「体験や解説などで縄文を身近に感じて」と話している。申し込み不要。問い合わせは考古館（電話0266・64・2044）へ。

（濱翔貴）